

ある。

マメダシマチ 大豆田新町 金澤の町名。大豆田町に對しての名である。

マメダマチ 大豆田町 金澤の町名。もと石川郡大豆田村の一部を町地として編入したものであるが故に名づける。

マヤブニン 麻耶夫人 石川郡北安田行善寺の麻耶夫人像は有名なもので、子女の息災延命を祈るものは、遠く金澤からも参詣した。その開帳は舊四月七日・八日に行はれ、今も同日に於いてする。

マユダマ 蘭玉 ↓モチツキ 餅搗。マユミゾノザツシヨウ 眞弓園雜抄 狩谷竹藪著。歴史・野乘・物語・雜記などに見えた奇事を抜萃、自家の考按を註解したものである。

マユミゾノシユウ 眞弓園集 三册。狩谷竹藪の歌集で、四季雜難と部類し、巻尾に長歌を載せてある。明治七年奥村榮滋・横山政和の序がある。

マヨヒゴイシ 迷子石 金澤雨寶院境内に建てられてゐる。表『まよひ子こゝへ来て来べし。裏、維時文政十年孟夏建之 發起某』右『繼合す卯月の衣の誓哉 八十六翁梢波』左『かくれしを出されとてのみめぐみに神樂を奏し給ふかみく』西南宮』と刻してある。雨寶院は犀川大橋の西詰で、最も股販の地であるから、そこを選んだものと見える。

マラウドノミヤ 客入宮 比叡山に勧請した白山権現で、古事談卷五に『日吉客人宮者白山権現云々。慶命座主之時無指證據一者無詮小社也。又可御座者可被示不思議云々。件夜入座主之夢一有託宣之旨等。後朝

小社之許白雪一尺許積りたりけり。六月と云々。』とある。日吉社神道秘密記には『客人宮云々。天安二年六月十八日有御邊宮。此刻靈石、長々雪降。自白山出現驗也。』又『一書に云。文德天皇の御世天安年中に、白山比咩神を比叡山に勧請なしけるに、四時雪降りたり。山徒甚困却して一山是を歎き、毎年一度來臨の日を定め、常は白山に鎮座る事となしたり。故に客人宮と稱す。』とも見える。

マリシテナヤマ 摩利支天山 金澤卯辰山一部の小名で、その地に寶泉坊の摩利支天堂があるから名づける。

マルイシガハ 丸石川 又圓石川とも書き、丸石谷川ともいふ。白山の大汝岳西北なる溪流で、千俣瀧から下流をいふ。大小の石皆圓形なるが故に名づける。丸石川は中川に入り、遂に尾添川となる。

マルヤデンエモン 丸屋傳右衛門 石川郡大野の人。代々富豪を以て名高く、粟ヶ崎村の木屋と並稱せられたが、後漸次衰へて傳右衛門の幼時には赤貧洗ふが如くであつた。是を以て傳右衛門は家運の挽回を志し、忍耐刻苦、遂に大小數十の商船を有するに至り、寛政九年その地の日吉神社を興造した。

丸山 能美郡白山下に屬する部落。この村の谷郷社の參道側に、丸山の樺と稱する巨樹がある。根と幹との境に於ける周圍七米八、地上一米五の周圍六米九。地上三米から二幹に分かれ、共に直立して總樹高三

六米に達する。マルヤマ 丸山 河北郡宇氣部落の東方に在る山。高さ六三米。地質沖積層。

マルヤマ 丸山 鳳至郡下唐川内の小字。マルヤマ 丸山 珠洲郡白瀧部落の南方、寶立山の東に連る山。高さ四六九米。マルヤマ 圓山 鳳至郡七浦庄に屬する部落。能登名跡志に、『家數十軒餘あり。山里なり。此村より長井村へ直に出づる間道あり。道少し近し。』とある。明治中に至り西圓山と改稱した。

マルヤマ 圓山 鳳至郡中町野郷に屬する部落。東村石瀧比古神社藏弘治三年八月の棟札には丸山に作る。能登名跡志に、『丸山村は粟藏より一里。天王寺とて密宗あり。近き頃の法印入定ありし塚あり。』とある。明治中に至り北圓山と改めた。

マルヤマ 圓山 鳳至郡甲にある山で、上に甲山城址がある。マルヤマダケ 丸山岳 鳳至郡丸山部落の西南に在る山。高さ二七一米。地質第三紀層。マルヤマリヨウエツ 丸山了悅 寶曆四年御醫師として召出され、廿人扶持を受け、十二年三月十八日歿した。子孫了悦・了悦應保・了悦相襲ぐ。

マワキ 眞脇 珠洲郡木郎郷に屬する部落。承久三年注進の能登國田數目録に、『珠洲郡眞脇村八町六段』と見える。又能登名跡志には、『小木より眞脇村へ廿七町あり。此村は六分は公領也。四分は私領也。家居百七十軒あり。入交りてあり。國中第一の大獵場なり。公領庄屋七郎右衛門といふ。井田氏なり。神馬座權現あり。神主高原氏なり。』と記する。こゝ

に神馬座權現といふものは明らかでないが、社家を高原氏とあるから、高倉神社のことらしく思はれる。マワキガサキ 眞脇ヶ崎 珠洲郡眞脇のうち姫から西に突出する岬。辨財天崎といふも同じい。寶永元年一覽記に、『眞脇ヶ崎の向にも島あり。辨財天を勧請す。』と見えて、この島は從島である。マワタリ 馬渡 珠洲郡直郷に屬する部落。マンカクジ 満覺寺 鳳至郡廣岡に在つて、眞宗東派に屬する。

マンガンジャマ 満願寺山 石川郡窪に在る。高さ圓上測定一五六米。地質第三紀層。龜尾記に、この山に登臨すれば石川・河北・能登口郡まで見え渡る。昔萬願寺があつた爲その名を得たと記する。加越能舊跡には滿願寺に作る。寺跡は今明らかでない。マンギヨウ 萬行 鹿島郡萬行保に屬する部落。マンギヨウタネナリ 萬行胤成 嘉元三年五月七日の文書に、『着到。依此御大事能登國御家人萬行又五郎胤成參勤仕候。』とある。その御大事とは鎌倉に於ける北條時村と宗方の騒亂をいふのであらう。

マンギヨウホ 萬行保 鹿島郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『萬行保、六段、建曆元年立券狀』とある。マンギヨウホ 萬行保 鹿島郡に屬し、遊政時代では、太田・佐味・萬行・佐野の四ヶ村を含んで居た。マンキンタン 萬金丹 奥村氏の家中に居住した庄田家の傳法で、有名なる良薬であつた。庄田家の傳書には、萬金丹は隨春と云ふ

ある。マメダシマチ 大豆田新町 金澤の町名。大豆田町に對しての名である。マメダマチ 大豆田町 金澤の町名。もと石川郡大豆田村の一部を町地として編入したものであるが故に名づける。マヤブニン 麻耶夫人 石川郡北安田行善寺の麻耶夫人像は有名なもので、子女の息災延命を祈るものは、遠く金澤からも参詣した。その開帳は舊四月七日・八日に行はれ、今も同日に於いてする。マユダマ 蘭玉 ↓モチツキ 餅搗。マユミゾノザツシヨウ 眞弓園雜抄 狩谷竹藪著。歴史・野乘・物語・雜記などに見えた奇事を抜萃、自家の考按を註解したものである。マユミゾノシユウ 眞弓園集 三册。狩谷竹藪の歌集で、四季雜難と部類し、巻尾に長歌を載せてある。明治七年奥村榮滋・横山政和の序がある。マヨヒゴイシ 迷子石 金澤雨寶院境内に建てられてゐる。表『まよひ子こゝへ来て来べし。裏、維時文政十年孟夏建之 發起某』右『繼合す卯月の衣の誓哉 八十六翁梢波』左『かくれしを出されとてのみめぐみに神樂を奏し給ふかみく』西南宮』と刻してある。雨寶院は犀川大橋の西詰で、最も股販の地であるから、そこを選んだものと見える。マラウドノミヤ 客入宮 比叡山に勧請した白山権現で、古事談卷五に『日吉客人宮者白山権現云々。慶命座主之時無指證據一者無詮小社也。又可御座者可被示不思議云々。件夜入座主之夢一有託宣之旨等。後朝